

文化薫る町へ 猪名川町文化協会

人生を豊かにし、生活に潤いを与えてくれる芸術。町内でも、さまざまな教室が開かれ、展示会やコンサートなど多くの催しものが開催されています。

猪名川町文化協会は、そういった文化面で活躍する団体・教室の集まりです。今回は、大きく発展しつつある猪名川町文化協会と、その中から、4つの教室を訪問し、お話を伺いました。

町の文化をリードする

猪名川町文化協会は事務局を生涯学習課に置き、現在、園芸・ハンドメイド・書道・美術・絵画・猪名川音楽・文芸・ダンス・猪名川茶道の9協会と、いけばな同好会、陶芸・邦楽・舞踊・写真・洋裁の分野の9団体、合計43団体が加盟しています。

平成2年、各協会の間にお互いの交流を図ることで研鑽を深め、猪名川町の文化・芸術の向上に寄与してまいりました。



松永 ひさみ 久保田 由美
特派員報告

住民みんなで、クリスマスパーティー!



昨年開催されたクリスマスパーティー

協会の主催事業であるクリスマスパーティーは今年で6回目になります。昨年は200人が参加。ピエロやサンタに仮装したスタッフが雰囲気盛り上げ、参加者は軽食とダンスを楽しみました。今年は23日に開催予定。大人から子どもまで楽しんでもらえる住民の交流の場にしたいと、来場者数350人を目標に準備を進めています。今年は、パーティーの前に、宇都宮満人とスイングジャズオーケストラ・イナウインズによるジャズコンサートを文化協会が後援し開催します。パーティーはダンス・ゲーム・抽選会と盛りだくさん、また模擬店(有料)も多数出るなど、今年はいっそう盛大になりそうです。(詳細は6ページの情報ポケットに掲載)

という機運が高まり、結成されました。その翌年に、文化活動の中心となる文化体育館が完成、さらに平成7年には、中央公民館がオープンし、施設が充実したことで、活動は更に活発になっていきました。

文化の発信基地 静思館

文化協会は、静思館の企画・運営を4月から受け持つていきます。静思館は昭和初期のかやぶき、総檜造りの純和

風の家で、国の文化財建造物に登録されています。文化協会会長の日野上寅治さんは「静思館を猪名川町だけに留まらず、近隣の地域まで含めた中で文化の発信基地にしたいです」と、抱負を語られています。

4月には、加盟団体「彩」が「ピアノ・フルートのコンサート」を静思館の落ち着いたたたずまいの中で開催し、好評を得ました。今後も静思館ならではの企画が期待されます。

文化協会への問い合わせは、文化体育館(766・7400)へ。

生涯楽しめる園芸

雅友会 大嶋誠治さん・滝花恒良さん



盆栽の指導をされる大嶋さん

10月21日、木津総合会館で、園芸教室「雅友会」の勉強会が行われました。講師は、盆栽の仕事を30年以上されている大嶋誠治さん。猪名川盆

また、菊作りの講師、滝花恒良さんは「菊は育てる環境によって、できが大きく変わります。それが、菊作りの難しさであり面白さでもあります」と話されました。

それぞれの個性を生かす

楽描きクラブ 西山佐枝子さん



完成が楽しみですね

ふるさと館で月2回行われる絵画教室「楽描きクラブ」。毎年、町が主催するさつき展に出品する一方、スケッチ旅行や美術館巡りも楽しんでいます。

講師の西山佐枝子さんは、小中学校での8年間の指導を含め、30年以上も町内の絵画指導に携わっています。また、海外を訪れ絵を描くことも多く、常に教室に刺激を与えています。西山さんは「文化の発展のために、地域がその土台や受け皿をつくる必要があります。一人ひとりの個性を生かし、受け入れることで、新たな可能性が生まれます」と穏やかに話されました。

芸術を楽しむ

美を追い求めて

アラベスクバレエ 杉本初美さん



バレリーナを夢見て

「アラベスクバレエ」は、教室を主催する杉本さんが、15年前に美容のためのバレエ指導をしたことがきっかけで始まりました。現在、3歳から60歳代の105人が、イナホールを含めた3教室でレッスンに励んでいます。今年8月に行われた大会「バレコン名古屋」では、3人が入選しました。

杉本さんは「バレエは美の追求です。たくさん舞台に出ることが上達にもつながります。来春には文化協会主催で「ドン・キ・ホーテ」の公演を行います。経験を問わず、表現力のある男性メンバーを募集中です」と熱心に話されました。

豊かな自然をいけばなに

猪名川いけばな同好会

8流派・18人のいけばなの先生方がつくる「猪名川いけばな同好会」は、猪名川町のいけばな文化の発展を目的に、3年前に流派を超えて結成されました。



多くの来場者が訪れたいけばな展

10月18・19日、文化体育館で「第5回いけばな展」が陶芸クラブとの共催で行われ、花と器が互いを引き立て合う、美しい作品が展示されました。その中には、野山に咲いている花の作品もあり、いけばなが身近なものに感じられました。会員のおひとり、「作品を発表することが、

いけばな文化の発展につながると感じます。猪名川町の自然を生かしたいけばなを皆さんに見ていただきたいです」と話されました。

編集 後記

取材に伺った楽描きクラブで、普段絵を描くことのない私達も花のスケッチをさせていただきました。思うようには描けませんでした。自分だけのために使う時間は、有意義でとても贅沢なものでした。文化協会では今後さまざまな催しを計画されています。見るもよし、参加するもよし。せっかく与えられた文化に触れるチャンスをとりたいです。【いながわ特派員】